教室の空気環境調査の結果をお知らせします！！

まだまだ寒さが続き、風邪などの多い時期ですが、皆さん体調はどうですか？
風邪やインフルエンザを予防するためには、手洗い・うがいはもちろんのこと、換気も大切です。
今回、薬剤師の中田先生に来校していただき、教室内の空気清浄度はどうか、暖房や換気が適切に行われているか、調査をしていただきました。

＜調査日時:平成22年1月22日　測定者:学校薬剤師　中田和子先生＞

調査クラス	1年7室（1階）	1年6室（2階）	2年5室（3階）
生徒数	41人	41人	40人
建物の種類	RC造	RC造	RC造
天候	晴れ	晴れ	晴れ
外気温度	18℃	18℃	18℃
室温	23℃	21℃	22℃
調査開始時間	13:40	13:55	14:15
窓の開閉状況	廊下一部開放	廊下一部開放	廊下一部開放
暖房使用の有無	エアコン有	エアコン有	エアコン有
二酸化炭素濃度	1500ppm	1600ppm	2000ppm
落下細菌	10コロニー以下	10コロニー以下	10コロニー以下

学校環境衛生基準

温度：１０℃以上、30℃以下（最も望ましいのは 18～20℃）
二酸化炭素濃度：1500ppm 以下
落下細菌：１教室平均 10 コロニー以下

★薬剤師中田和子先生より

高校生は肺活量が多く、30分以上経過すると二酸化炭素が充満します。各教室とも廊下側は少し欄間換気が実行されているので、辛うじて基準値すれすれですが、できれば、***反対側の欄間も対角線の方向に開ける***と充分な換気が出来ると思います。
なお、***休み時間には完全換気（10分間）を行ってもらいたい。***
（因みに、廊下の窓全開の二酸化炭素は450ppmでした。）

授業形態の違いはありますが、どのクラスも二酸化炭素は基準値を越えており、かなり空気が汚れています。
脳が酸素不足になると、頭がボーっとする、気分が悪くなる、眠くなるなどの症状がでて、授業への集中力にも影響します。
廊下の二酸化炭素濃度は４５０ppmで、教室との差は歴然！休み時間に窓を開けて空気の入れ替えをするなど換気を心がけてください。
風邪やインフルエンザにかからず、元気に学校生活をおくりましょう☆